

漁況予報 いわし

第103号

2001年 1~2 月漁期
(2001年1月9日発行)

＝ 概況 ＝

まいわし

11月のマイワシ漁況は、14日に石橋漁場で17トンの、中型まき網でも下旬に7トンの大羽イワシの漁獲がありました。一般的には散発的な漁模様で推移し漁獲は伸びませんでした。12月になるとさらに漁獲は減少傾向となりましたが、佐島地区のまき網には計4日間で約35トンの小・中羽イワシの漁獲がありました。2000年のマイワシ漁獲量は、大羽イワシが極めて少ないこともあり、中型まき網では前年の5割強と前年比3年連続の減少、定置網でも西湘地区を中心に1996年に次ぐ当歳魚の漁獲があったものの同6割程度の漁獲量に留まりました。

今年の漁獲対象となるマイワシは、1998・1999年級群（大羽）の残存資源と、2000年級群（中羽）となりますが、1999年級群の豊度は極めて低く、比較的豊度の高かった1998年級群もこれまでの漁獲により殆ど残っていないと考えられますので昨年以上に大羽イワシの資源量は少ないでしょう。大羽イワシの資源量が少ない中で、昨年多く入網した2000年級群に期待したいところです。

かたくちいわし

夏以降、一般的に極めて低調な漁模様であったカタクチイワシ漁は、11月以降になっても漁況が好転することなく終漁しました。2000年のカタクチイワシ漁獲量は、定置網では、一昨年・昨年と7月以降における未成魚の漁獲が伸びない状況が続きました。まき網でも、前半はヒラゴの混獲が多かったことと、後半はマイワシの来遊量が少なかったため9月から漁獲努力が向けられたにもかかわらず未成魚の来遊量が少なかったことから、前年の7割と前年比2年連続の減少になりました。

今春のカタクチイワシ資源は、沖合の大型成魚（1998年級群）が主体と考えられますが残存資源は少ないと考えられ、1999年級群も豊度が低いことから、昨年並みの低い漁獲水準になるでしょう。

しらす

11・12月の相模湾のシラス漁は、西寄りの地区で100kg/統/日前後とこの漁期としては比較的安定した漁模様でしたが、東部地区は前年同期よりは良かったものの、50kg/統/日と低調な漁獲水準で推移しました。特に腰越周辺では10kg/統/日未満の日が多くありました。魚種は中～小カタクチシラスが主体ですが、11月にはウルメシラスが、12月にはマシラスが少ないがら東部地区から反時計回りに順次混じるようになりました。2000年のシラス漁獲量は、極端に漁獲の悪い月が無かったおかげで、1997、1995年に次ぐ高い漁獲水準となりました。今年の春漁期については、過去3年と比べてカタクチイワシ大型成魚の資源水準が低いと予想されますので、春シラスの来遊にも影響が及ぶものと思われます。

＝ 予報 ＝

まいわし

今漁期は、大羽の資源水準が極めて低いことから、越冬期の小羽～中羽（2000年級群）が主体となります。したがって、まき網による大羽の漁獲は殆どないでしょう。今漁期の漁獲量は、定置網主体に約45トンと予測されます。

*縦軸：主要定置網＋まき網

かたくちいわし

今漁期は、沖合から部分的に来遊する大型成魚が漁獲対象となります。本県沿岸の未成魚の資源は、昨年後半の漁況から見てかなり少ないと考えられます。また、大型成魚の来遊も散発的なもので、漁況が大きく好転するには至らないでしょう。

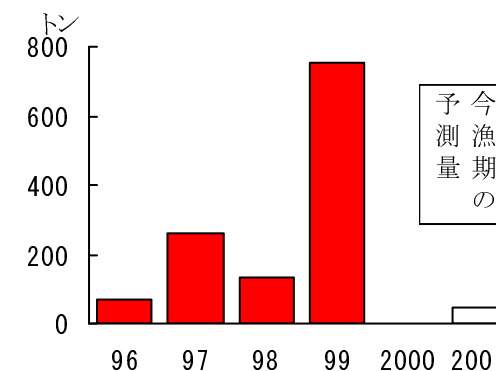
今漁期の漁獲量は、約50トンと予測されます。

しらす

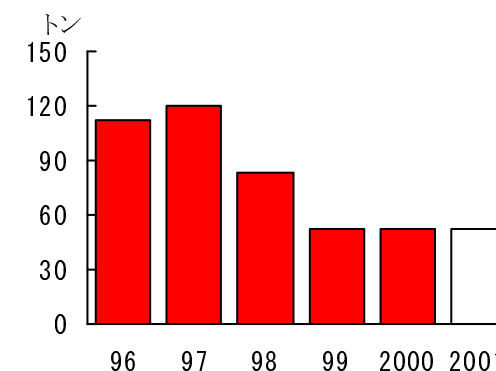
神奈川県シラス漁業は、1月1日から3月10日まで禁漁です。当所では、解禁後の漁況予測のため、しらす船曳網漁業連絡協議会の協力により、禁漁期間中に漁期前調査を実施します。今回は、秋谷地区と腰越地区のしらす漁業許可船を使用させて頂くことになりました。ありがとうございます。次号で経過報告をします。

過去5年の1・2月漁期の漁獲量と今漁期の予測量

マイワシ



カタクチイワシ



21世紀もよろしくお願いします！

神奈川県水産総合研究所 資源環境部
三浦市三崎町城ヶ島 (0468-82-2313)